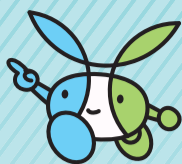


今月の 西区クローズアップ情報

お役立ちだよ!



新型コロナウイルス感染症の影響などにより、イベント・講座が中止・延期される場合があります。最新情報は各問合せ先にご確認ください。また参加時には、主催者による感染拡大防止策にご協力をお願いします。

6月は環境月間、6月5日は世界環境デーです

地球のために環境にいい活動を楽しみましょう!

地球環境問題について知ろう!

地球環境を守るためには一人ひとりの行動が大切です。まずは知ることから始めよう!



なにわエコスタイルのyoutubeをチェック!



身近なことから行動しよう!

- 食品ロスをなくそう
- 住環境を見直してみよう
- 車での移動をなるべく減らそう
- マイボトルを持って出かけよう
- 自らの行動を発信しよう



お得な情報はマイボトルスポットMAPのホームページから



問合せ 環境局環境施策課 TEL 06-6630-3491 FAX 06-6630-3580



子育て交流会 てをつなごう!

～つながる西区、子育て仲間と!～

子育て中の皆さんや新たにパパ・ママとなる皆さん、子育てを応援したい皆さんの交流の場です。私たちのまちの“子育ての輪”を大きく広げましょう!

日時 6月30日(木) 10時30分～12時30分
場所 ハウスビルシステム西区民センター
内容 七夕飾り、手作りおもちゃ、さかなつり、絵本の読み聞かせ、子育て情報コーナー 他
対象 乳幼児とその保護者など
定員 100組(申込先着順)
申込開始 6月6日(月)



詳しくはホームページから



問合せ 西区社会福祉協議会 TEL 06-6539-8075 FAX 06-6539-8073

令和4年度 西区三十歳のつどい

これまで開催してきた「西区成人の日記念のつどい」と同様に、20歳の方(その年度に20歳を迎える方)を対象に「西区二十歳のつどい」として開催します。詳しくは追ってお知らせします。

日時 令和5年1月8日(日)
場所 ハウスビルシステム西区民センター
対象 平成14年(2002)年4月2日～平成15年(2003)年4月1日生まれの方



問合せ 区地域支援課(地域支援) TEL 06-6532-9734 FAX 06-6538-7318

今年の夏に参議院議員通常選挙が行われます

参議院議員選挙は、今後の日本の進路を決める重要な選択の機会です。当日、投票に行けない方は期日前投票・不在者投票をしましょう! 日程等はお送りする投票案内状やホームページなどでご確認ください。

● 期日前投票・不在者投票期間
期間 公示日の翌日～投票日の前日
日時 午前8時30分～午後8時 投票日直前の6日間は午後9時まで延長します。
場所 西区役所4階 402会議室



※滞在先での不在者投票の投票場所・投票時間は、滞在先の選挙管理委員会にお問い合わせください。
 ※新型コロナウイルス感染症により療養等をされている方で、一定の要件を満たす場合、郵便等により投票をすることができます(特例郵便等投票)。くわしくは西区選挙管理委員会にお問い合わせください。
 ●安心して投票いただけるよう、投票所内での感染・まん延防止に取り組んだうえで選挙を実施します。
 ●混雑緩和のため期日前投票を積極的にご利用ください。●マスクの着用、咳エチケットの徹底、来場前後や帰宅後の手洗いをお願いします。●周りの方との距離を保つようお願いします。●ご自身で鉛筆またはシャープペンシルを持参いただき、投票用紙に記入することもできます。

問合せ 西区選挙管理委員会(西区役所内) TEL 06-6532-9626 FAX 06-6538-7316
 大阪市選挙管理委員会 TEL 06-6208-8511 FAX 06-6204-0900

第1回 防災コラム

災害が起こった際に皆さんの身近に起こること、その対処方法や事前の備えをテーマに、全3回にわたって掲載します。



大雨・台風の気象情報が発表されたら… 変化する気象情報に注意して 早めに防災対策・避難行動をしましょう

大陸と海洋にはさまれた日本は、季節の変わり目に梅雨前線や秋雨前線が停滞し、時に大雨が降ります。また、7月から10月にかけては日本に接近・上陸する台風が多くなり、自然災害が発生しやすい季節です。

近年では短時間に狭い範囲で非常に激しく降る雨も頻発し、特に道路が舗装された都市部では、道路や住宅の浸水、地下街の水没といった被害も発生しています。

また、増水した川を見に行き流されてしまったり、浸水した道路で側溝の境界が見えにくいために転落したりする事故も発生しています。

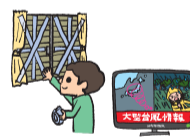
気象庁はさまざまな「気象情報」を発表しています。情報を有効活用し、早めの避難行動をとるようにしましょう。

「気象情報」を活用し、大雨や台風への備えを



国や大阪府では治水工事など、風水害のさまざまな対策を行っています。しかし、施設などのハード面で対策を行っていても、自然の力が勝れば、災害は発生します。災害から命を守るためには、公的機関が行う対策などの「公助」だけでなく、災害に対する備えや危険を感じたら早めに避難するなど、自らの命を守るための行動を起こす一人ひとりの「自助」が重要です。特に高齢者や子どもがいるご家庭では、天候が荒れてから行動するのは危険です。先を予測して事前に行動しましょう。

雨風が強くなる前に対策を



窓や雨戸を補強する、側溝や排水溝は掃除して水はけをよくしておく、風で飛ばされそうなものは固定したり屋内に格納したりするなど、家の外の備えをしておきましょう。強くなってからでは、外での作業は危険です。また、飛散防止フィルムを窓ガラスに貼るなど、室内の安全対策も行いましょう。平時から非常持出し品の点検や避難場所の確認なども行っておきましょう。既に災害が発生していたり、避難場所までの移動がかえって命に危険を及ぼしかねない状況では、近隣の堅牢な建物などへ緊急に移動したり、自宅のより安全な部屋に移動するなど、身の安全を確保してください。



日ごろからハザードマップをチェック



避難するときに安全なルートを通して移動できるよう、日ごろから「ハザードマップ」を活用して、危険な場所を確認しておきましょう。ハザードマップは、過去に発生した災害の被害状況をもとに、津波や集中豪雨による内水氾濫など、災害時における被害状況を予測し、地図に書き込んだものです。また、マップ上で危険な地域になっていなくても、「うちは大丈夫」「まだ大丈夫」と考えないで、早めに行動しましょう。



問合せ 区地域支援課(防災) TEL 06-6532-9972 FAX 06-6538-7318

